

被災地支援だより

第 34 号 2016年7月17日

Tel. 042-482-3937/sdbchofuchurch@donboscojp.org/<http://chofu-church.ciao.jp>

4月14日と16日未明に熊本県を中心とした九州地方で起きた大地震により、沢山の犠牲者、被害が出ました。犠牲になられた方々とご家族のために神様の慈しみ深い憐れみと救いを願い祈りましょう。また、けがをされた方々、安心して居られる場所を失った方々に、一刻も早く必要な助けがありますよう祈りましょう。

今後、調布教会では、東日本大震災や熊本地震で被災された方々、またその他の災害で被害を受けられた方のために、ミサの中などで心を合わせて祈ることができるよう下記の文面を使用します。どうぞ日常の祈りの中でもご活用ください。

被災者のための祈り（調布教会オリジナル）

いつくしみ深い神よ、被災された人々のために祈ります。

苦しみのうちにある人々を心に留めてください。一日も早く平穏な生活を取り戻すことができますように。また、亡くなられた人々が、あなたの光の中で安らかに憩うことができますように。

ともに祈るわたしたちが、被災された人々と心が一つになり、互いのうちにキリストを見出すことができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

調布教会信徒の片瓜和夫さんは、ほぼ毎月ボランティアとして被災地を訪れていらっしゃいます。4月、5月、6月に行かれた時の活動報告をしてくださいました。

【4月】

今回、原さんは4月18日JRで、高浪さんは夜行バスで、片瓜と玉林さん、北浦和教会の吉田さんの3人が玉林さんの車で行った。

19日7時前には大槌ベースに到着。1時間の仮眠の後、食事。9時から19日の活動の打ち合わせを行った。

4月19日

安渡第2仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、原、高浪、吉田、片瓜 スタッフ 生利

何時もムードメーカーをやって下さる小国ヤスさんが出迎えてくれた。小国兼太郎さんが元気がない。どうも熊本の地震にショックを受けたらしい。

仮設への道は来るとに変わり、仮設の裏の建物の建設は進み、住人の居住スペースは少なくなる一方だ。

男性 2名 女性 4名

大槌第3仮設

出発 13:30～

活動 14:00～15:30

メンバー 玉林、原、高浪、吉田、片瓜
スタッフ 道又、西館



新スタッフの道又さんが加わってくれた。彼女も西館さんと同じく現地採用だ。この仮設ではやはり復興住宅に移った2名の方が来られなかった。

↑左・94歳の兼太郎さん 右・95歳のぼっちゃん

移った後の連絡が課題となった。かえって引っ越した後の方が疲れている方は多いと感じた。

男性 1名 女性 6名 別の場所で 女性 3

分ち合い 17:30～

- ・兼太郎さんが弱気になっているのが気になった。
- ・菜の花をカモに食われた。ワカメが不作と聞いた。(白浜さん(長崎))
- ・3か月ぶりに来て多くの感動をもらった。(原)
- ・来れて良かった。ヤスさん、兼太郎さん夫婦に会えてよかった。(吉田)
(この後吉田さんは泊まらず夜行バスで帰った)
- ・兼太郎さんがシベリア抑留に行った話をうかがった。

4月20日

赤浜第3仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、原、高浪、片瓜 スタッフ 道又

昨日は天気は芳しくなかったが、20日は朝から晴れ。前月は15人も人が来て下さったので張り切って行ったら、現地の催し物が新設され、殆どの方がそちらに行っているとのこと。

でも、いつもより少ないがそれなりに一人ひとりに時間をかける事が出来た。

若いお母さんとその子供たち、ばっちゃんたちもお母さんも、みんな疲れている。

女性 5名 子供 3名

安渡第3仮設

出発 12:30～

活動 13:00～14:30

メンバー 玉林、原、高浪、片瓜

スタッフ 道又、西館

この仮設では常連の鈴木のばっちゃんに加えて近所の方々が誘いあって来てくれるようになって、人数が増えた。仮設としては半数以上が別の住宅に移っている。

女性 7名



分ち合い 17:30～

- ・子供の元気が皆を救っている。
- ・土地に密着したボランティアが必要と思う。(玉林)
- ・部屋が分かれている仮設集会所があったが、つなげてくれる事になりよかった。(原)
- ・子供のいることの素晴らしさを知った。
- ・他のお茶っ子へ行ったがそこでは熊本のニュースを見ると体調が悪くなるので見ないようにしているとの事。(西館)

今回は熊本の地震が東北の方々の心にかなり

辛い思いを投げかけている事がわかった。

道が行く度に新しく作られ道筋が変わる。

山が削られ無くなって来る。

少しずつではあるが形が見えてき始めた感がある。

ただし、まだ時間はかかりそうだ。

→ 港の工事
工場も出来始めている



【5月】

今回は原さんは休み、高浪さんは夜行バスで、片瓜と玉林さんは車で訪問。

17日7時前には大槌ベースに到着。長崎から5人、仙台から1人待っていてくれた。

1時間の仮眠の後、食事。9時から17日の活動の打ち合わせを行った。

5月17日

赤浜第3仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、菅原(仙台)、片瓜 スタッフ 道又

朝は強い雨、ここでの恒例になっているラジオ体操をすることも出来なかった。

5月にしては少し寒い。支援さんが草刈りでかぶれを起こして手がひどい状況になっていた。

3歳児の陸君がお母さんと一緒に来ると途端に場が明るくなった。

その後お友達も来て人数は前月よりかなり回復した。

女性 9名 子供 3名

大槌第3仮設

出発 13:30～

活動 14:00～15:30

メンバー 玉林、原、高浪、菅原、片瓜

とにかくずっと雨降りだった。雨が降ると人の足が遠のき人数が減った。症状の重い方が心配であった。来た方をじっくりと施術出来た。

女性 5名 別の場所で 女性 3名

分ち合い 17:30～

・女性と子供3人でとても賑やかだった。

(スタッフ)

・町営住宅でお茶っ子をした。

元気なおばあちゃん達がいた。(西館)

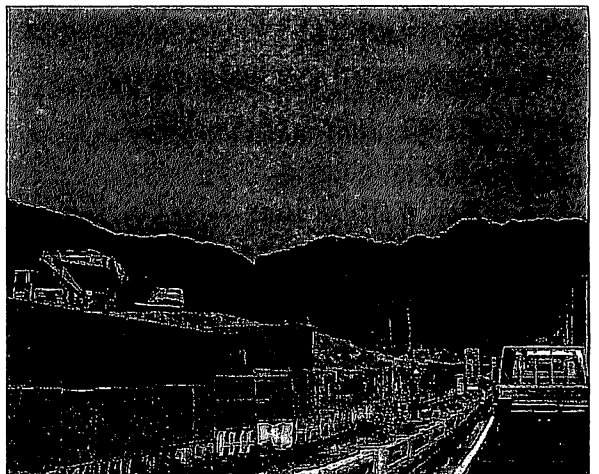
・大槌第3は少なかったなので1人に対して長時間出来た。

・町営住宅でお茶っ子して逆に励まされた。

(長崎、久保さん)

・行く度に道が変わりびっくりした。

→もうすぐ道の左側が宅地になる



5月18日

長崎からの5人は朝食後帰った。

安渡第2仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、原、高浪、菅原、片瓜 スタッフ 道又

やはり、小国ヤスさんが迎えて下さった。すでに3人の方が来ていた。兼太郎さんもすぐにやって来て施術に入った。前月休んだ漁師のお父さんもやってきた。アルバイトでワカメの茹で上げをやっていたそうである。

男性 3名 女性 5名

安渡第3仮設

出発 12:30～

活動 13:00～14:30

メンバー 玉林、高浪、吉田(浦和)、片瓜

この仮設でも草取りでかぶれている方がいた。毒蛾ではないのかなーと話をした。

ここでは施術は受けないが、元網本の木村さんが話しにやって来て下さる。

お話を聞いたら、大槌で津波を船で乗り切った唯一の人であることが分かった。

古木神父様と親交があったと話されていた。

男性 1名 女性 5名

分ち合い 18:00～

- ・毒蛾の被害者があちこちにいた。聞いていない話がまだまだ出てくる。(玉林)
- ・洋菓子屋の御主人に津波に合った時のお話を聞くことが出来た。
お父様を亡くされていた。
- ・地元の間人だけども道を間違えてしまった。(スタッフ)
- ・人数は少なくとも話がじっくり出来て良いこともある。

今回は何時も一緒に活動してくれていた亀岡さんが体調不良でリタイアされた。

激務だということが今更ながら実感させられた。

【6月】

今回は原さんと西さんは20日にJRで、片瓜と高浪さん、玉林さんと車で訪問。

17日7時前には大槌ベースに到着。原さんと西さんが朝食を作り、待っていてくれた。

1時間の仮眠の後、食事。9時から21日の活動の打ち合わせを行った。

6月21日

赤浜第3仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、原、西、片瓜

スタッフ 道又

朝から良い天気。恒例になっているラジオ体操を行った。その時点で7～8人来ていた。

季節は前月と変わりとても暑くなりそうだった。

何時も吠える犬も張り切って吠えていた。

施術を始めた時には人数は10人になっていた。

私と玉林さん、高浪さんは全く休むことが出来なかった。

その代わり西さんと原さんが仮設の人たちに溶け込み大いに話し、盛り上げて下さった。

女性 15名 子供 3名



↑我々もラジオ体操！

↓すっかり溶け込む西さん、原さん



大槌第3仮設

出発 13:30～

活動 14:00～15:30

メンバー 玉林、原、高浪、西、片瓜

スタッフ 西館、道又

とにかくここも人数が多かったので、私も玉林

さん、高浪さんも休む暇がなかった。改めてスタッフだった亀岡さんの大変さが自覚できた。

女性 11名 別の場所で 女性 3名

分ち合い 17:30～

- ・皆が気持ち良いのかと思っていた肩もみ機がだめな人がいることが分かった。(高浪)
- ・仮設は2回目だが雰囲気がとても良かった。自分もリラクゼーションマッサージを覚えたい。(西)
- ・午前午後話すことが出来た。大変な状況乗り越えて来られた事が理解できた。
- ・久しぶりに午前午後参加できて良かった。終了後送って行けて良かった。(スタッフ)

6月21日

安渡第2仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、原、高浪、西、片瓜 スタッフ 道又

小国兼太郎さんが出迎えて下さった。この仮設は転居統合に伴って少しずつ人数が減っている。なんだか兼太郎さんの元気がない。やはり仮設での5年間の暮らしは苛酷なようだ。お歳も94歳にもなられる。何か生きがいをもっとあればと思う。

でも人数が少ない分、話をたくさんすることが出来き嬉しかった。

男性 2名 女性 4名

安渡第3仮設

出発 12:30～

活動 13:00～14:30

メンバー 玉林、高浪、原、西、片瓜 スタッフ 道又

久しぶりに鈴木のぼっちゃんの息子夫婦が来てくれた。来月からまた縄文遺跡の発掘のアルバイトで来れなくなるそうだ。ここでも西さんと原さんは大いに話し、笑って場を盛り上げてくれた。

男性 2名 女性 7名

分ち合い 17:30～

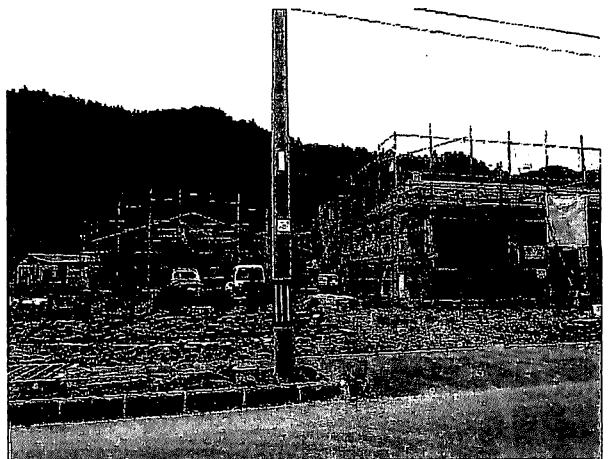
- ・兼太郎さんから名刺をいただけてうれしかった。(玉林)
- ・サオリ織のアレンジ中、勉強会でもっと色々な物を作りたい。(スタッフ 西館)
- ・自分も体をケアしなければと思った。(片瓜)
- ・ヤスさんに会えてよかった。

疲れている人が多いと感じた。(西)

- ・兼太郎さんがシベリア抑留の話や北朝鮮の話をして下さった。(原 高浪)

↓ 赤浜地区 加工場が建設されつつある

とにかく大いなる変化が近づいて来ている。スタッフの生利さんは地域コーディネータの勉強をしに岩手大学に通っている。我々のボランティアも別のフェーズに移っていくことになるのかもしれない。



【東日本大震災被災者の方々のためのロザリオ】

2011年3月11日に起こった大震災の被災者の方々、未だに仮設住宅で生活されている方々、現地で懸命に活動されている方々のために、有志と共にロザリオの祈りを捧げています。まだまだ祈りを必要とする被災地の方々のために、神様の導きと支えを願いたいと思います。どなたでもご参加いただけますので、是非ご一緒に祈りましょう。

日時：毎週木曜日 午後5:50～6:20 サレジオ神学院地下聖堂にて